

ふれあい

(2025) 令和7年4月



本会は、会員相互の親睦を図り、かつ、生涯学習の一環としての学習活動を推進するとともに、地域活動に貢献することを目的とする

緑鯨城会QRコード



発行 | 名古屋市高年大学鯨城会 緑鯨城会
名古屋市高年大学鯨城学園
編集 | 緑鯨城会 広報委員会

目次

表紙 熱田神宮大高齋田御田植祭	1
目次・表紙写真のコメント	2
会長挨拶 緑鯨城会35周年を迎えて 亀井 恒夫	3
緑鯨城会35年のあゆみ	4
〃	5
〃	6
〃	7
〃	8
〃	9
緑鯨城会歴代会長一覧	10
趣味の作品展35年のあゆみ	11
同好会35年のあゆみ	12
令和元年会長 近藤 比呂史	13
令和2年～4年会長 高野 孝	14
令和5年会長 廣瀬 義忠	15
38期生地域ミーティング・区会説明会ひらかれる	16
雑巾ボランティア	17
大須演芸場 鑑賞会・名古屋ウィメンズマラソンボランティア	18
俳句つれづれ(12)	19
投稿 俳句・短歌	20
緑ウォーキング同好会の報告と予定	21
訂正とお詫び	22
〃	23
こころの絆創膏・編集後記	24

ふれあい93号(令和7年7月発行)原稿募集のお知らせ

テーマ：問いません(自由です)地域の紹介・趣味・個人参加活動・行事

旅行の思い出・グルメ・健康法あれこれ・近所の名所等

字数：450文字程度 短歌・俳句・川柳は2首迄

締め切り：令和7年5月末

申し込み先：広報委員に電話、SNS、メールで連絡ください

連絡先は最後のページに記載しています。お気軽にどうぞ。

92号 表紙 熱田神宮大高齋田御田植祭 上野 英生 (31期 文化A)

大高の氷上姉子神社齋田での御田植祭です。

五穀豊穡を願う早乙女による華やかな田舞の奉納風景です。

昨年の6月に訪問しました。

緑鯨城会 35周年に寄せて



振り回された5年間

令和6年度 緑鯨城会会長 亀井 恒夫（33期 園芸）

2019年（令和元年 緑鯨城会30周年の年）秋、鯨城学園の修学旅行で奈良にバス旅行の時中国の内陸部で、伝染性の病気が流行しているという事がニュースで流れていました。旅行から帰ってしばらくすると世界中のあちこちで、伝染性らしい病気の発病者が現れだし、年が明けてまもなくすると、学園でも登校禁止となり身動きが取れなくなりました。園芸学科は農園があり学園登校禁止でも屋外なので、当時基準であった「蜜」でない為農作物の水やり等は行っていました。クラスとしての活動は出来ずどうなるものかと思っていましたが、どうにもならず時間だけが流れてゆきました。

2020年（令和2年）3月鯨城学園より登校禁止の中、卒業式も中止となり、卒業証書だけが郵送で届きました。

卒業式もなく 仲間とも会えず 何もなく 2年間で終わりました。

その後、緑鯨城会に入会しましたが、当然コロナによる規制は続き、私は各区の学習センターでの講座に参加していました。緑鯨城会の活動では歴史を楽しむ会に入れて頂き、また鯨城学園在学中はクラブ活動で少し手掛けた古文書を読む会が緑区にあることを知り入会させていただきました。2020年（令和2年）、2021年（令和3年）もコロナにより多くの規制を受けました。毎年恒例とされていた行事、イベントが無くなりそれが2年間にわたると、その継続そのものが難しくなってきました。さらに問題になったのが緑鯨城会そのものの存続です。そして2022（令和4年）緑鯨城会入会者は0人となり、2年間の活動停止により組織の継続が問題視されてきました。今までは特に役員人事は1年ごとの送りで来ましたが、2年間のブランクにより仕方なく役員の複数年による「留年」を余儀なくされ、人事の滞留が起きました。また新入会員がいないため問題はさらに深刻です。緑区は基本的に人口が多く、鯨城会員も比例して多いですが、こと役員人事になるとそうではありません。

16区で構成される鯨城会の中には新規入会者数4名、6名という区もあります。今年の鯨城会代議員会議で会員数の減少に歯止めをかけようと、卒園後はそれぞれの区の会員になることを入学の条件にする案が検討されました。どうなるでしょう注目したいと思います。

30年、35年と続けられてこられたことは、会員の皆様、学園、鯨城会および行政、社会福祉協議会、地域のみなさまのご支援ご指導のおかげと深く感謝いたしております。

これから我々高齢者はまず自分の健康に注意して、仲間とともに楽しく老後を楽しみたいと思います。



緑鯨城会35年のあゆみ

緑鯨城会

昭和63年	区会（緑鯨城会）発足準備始まる 責任者として野口秀夫氏選出
平成元年	4月 区会（緑鯨城会）設立のための相談会開催（緑区役所に25名参加） 5月 トータスランドの設立検討会を総会に切り替え 緑鯨城会結成。（29名出席） 平成元年5月29日を緑鯨城会創立日とする。 7月 初代会長選出 那須一雄氏就任
平成2年	3月 緑鯨城会会則制定（第1条～第10条、付則） 4月 第2回緑鯨城会総会開催
平成4年	4月 緑鯨城会運営組織 会長、副会長、書記、会計、監査、相談役、幹事（期別） 6月 サークル活動準備始まる 鉢物盆栽、陶芸、日本画、朝の散歩会、卓球、グランドゴルフ
平成6年	4月 緑鯨城会運営組織 会長、副会長、書記、会計、監査、名誉会長 広報委員、行事委員、サークル委員、期別幹事、地区委員 10月 広報誌「ふれあい」B5版創刊号発行
平成8年	4月 緑鯨城会総会開催 会長に初めて女性が選出される 鬼頭美代氏 就任 10月 第1回作品展開催 開催場所 緑ふれあい広場会館 出展数135点 来場者150名 出展作品 鉢物盆栽、陶芸、絵画、書道
平成9年	11月 第2回作品展開催 開催場所 緑ふれあい広場会館
平成10年	11月 第3回作品展開催 開催場所 緑区役所第2会議室
平成11年	10月 広報誌「ふれあい」B5版からA4版にサイズ変更 11月 第4回趣味の作品展開催 開催場所 緑区役所講堂（創立10周年記念）
平成13年	5月 緑鯨城会総会開催 女性2代目会長 水戸和子氏就任（市長選挙のため5月開催） 会長はじめ役員、委員に女性の進出目立つ
平成14年	7月 ボランティア活動に関するアンケート調査実施 回答数108名/186名 ボランティア活動意思あり（52%） カラオケ愛好会発足



平成15年	3月	雑巾ボランティア 第1回目の寄贈コジマ会老健みどりへ150枚
	4月	緑鯨城会総会開催 女性3代目会長 舟橋一子氏就任 ボランティア委員会設置 緑鯨城会運営組織 会長、副会長、書記、会計、会計監査、鯨城会幹事 広報委員会、行事委員会、期別委員会、ボランティア委員会 ※役員、委員選出基準：入会后3年とする（除く期別）
	5月	「緑ふれあい広場」清掃ボランティア始まる
	6月	ボランティア保険加入始まる 「ははの箱」（緑区歯科医師会）助成金受領 ボランティアベスト（鯨城会ネーム入り）着用始まる カラオケ同好会ボランティア「コジマ会みどり」で始まる
平成16年	3月	「緑ふれあい広場」前庭に15周年記念樹植樹（金木犀）
	4月	緑鯨城会運営組織 会長（兼鯨城会代議員）、副会長、総務、会計、会計監査 行事委員会、広報委員会、ボランティア委員会、期別委員会 ※書記を総務に変更し、増員と職務内容細分化
	5月	緑鯨城会創立15周年
	12月	新潟中越地震義援金寄付（35,853円）
平成17年	4月	緑鯨城会運営組織 会長（兼鯨城会代議員）、副会長、総務、会計、会計監査 行事委員会、広報委員会、ボランティア委員会、期別幹事 ※期別委員会を期別幹事に変更
	7月	「かきつばたの里」喫茶ボランティア活動始まる
	9月	平成4年～11年までの「活動計画資料集」（復刻版）作成なる 緑鯨城会ボランティア団体として「ボラネットみどり」に加入
平成18年	2月	緑社会福祉協議会よりボランティア活動地域福祉功労者として2名 表彰される。 荒川艶子（10期） 水戸和子（11期）
	4月	緑鯨城会運営組織 期別委員会を再配置
	11月	広報誌「ふれあい37号」の表紙カラー印刷となる
平成19年	7月	在校生に対し第1回区会説明会開催される
平成20年	2月	雑巾寄贈1,000枚達成
	3月	緑鯨城会会員数初めて300名超（309名）となる



平成20年	6月	「緑ふれあい広場」解体に伴い15周年記念樹（金木犀）成海神社境内に移植
	11月	第12趣味の作品展に、パソコンアート部門新設 作品展で緑区老人クラブ連合会と交流
平成21年	3月	「緑ふれあい広場」廃止 役員・運営委員会は徳重コミセンへ、清掃ボランティア活動は大高緑地公園へ
	4月	緑市民病院で喫茶ボランティア始まる 大高緑地公園で清掃ボランティア始まる
	5月	緑鯨城会創立20周年
	10月	第14回趣味の作品展オープンカフェ開設好評 扇川クリーンキャンペーン実施（20周年記念事業）
	11月	広報誌「ふれあい46号」発行（20周年記念号）
平成22年	1月	大須演芸場鑑賞・懇親会（20周年記念事業）
	2月	緑社会福祉協議会より、地域福祉事業功労者として3名表彰される 水戸和子氏（11期）伊藤昇治氏（16期）熊田克己氏（18期）
	11月	第15回趣味の作品展に都都逸、短歌、俳句部門に川柳を加える 甲冑三領初出展
平成23年	4月	緑鯨城会総会会場 緑区役所から緑文化小劇場に変更 清掃ボランティア活動大高緑地公園から新海池公園に変更
	10月	東日本震災義援金寄付（49,078円）
平成24年	5月	清掃ボランティア活動 要池公園（月1回）始まる
平成25年	6月	同好会「健康麻雀の会」発足
	11月	名古屋市長より「民間福祉事業功労者」として 緑鯨城会感謝状拝受
平成26年	3月	緑鯨城会会員数387名（過去最多）となる
	5月	緑鯨城会創立25周年
平成27年	2月	徳重地区会館にてボランティアフェスティバル参加
	3月	みどり多文化交流会ボランティア参加 広報誌「ふれあい」配布者会議実施
	6月	ウォーキング同好会、ボーリング同好会発足
	10月	第20回趣味の作品展「緑区民まつり協賛事業」となる 大高緑地公園プラパンコーナー大好評
平成28年	6月	健康体操同好会発足
平成29年	1月	絞り染め同好会発足
	2月	雑巾配布ボランティア活動 緑社会福祉協議会より「感謝状」拝受
	7月	役員会・運営委員会会場 徳重コミセンから片平ふれあいセンターに変更



平成29年	10月	緑市民病院よりボランティア活動に対し「感謝状」拝受	
	12月	第1回16区フェスティバル」参加	
平成30年	3月	緑市民病院に車いす2台贈呈 緑鯨城会ホームページ休止（不正アクセスによる）	
平成31年	4月	魅力向上委員会発足 鯨城会・緑鯨城会ホームページリニューアル 「平成31年（令和元年）緑鯨城会総会」緑文化小劇場で開催 会則改正「再入学者の期別変更について」追加記述	
令和元年	5月	緑鯨城会創立30周年 緑鯨城会創立30周年記念事業実行委員会発足 「わんぱく相撲・世代交流イベント」ボランティア（主催：名古屋青年会議所）に初参加	
	7月	「みどり英会話」同好会発足 「郷土の歴史を楽しむ会」同好会発足	
	8月	緑健康太極拳」同好会発足	
	9月	30周年記念事業 運営委員会で承認 ① 趣味の作品展（30周年記念） ② 30年史編纂（ふれあい77号：30周年記念特集号） ③ 30周年記念式典・記念アトラクション2部構成（同好会&歌の玉手箱）	
	10月	「第24回趣味の作品展開催」（30周年記念）	
	11月	「第2回16区フェスティバル」参加	
	12月	運営委員会だよりを毎月ホームページに掲載（会員情報共有と迅速化） 広報誌「ふれあい76号」初のオールカラー印刷版発行 雑巾配布ボランティア活動 緑社会福祉協議会より「感謝状」拝受	
令和2年	1月	30周年記念品「絞りのハンカチ」を、絞染め同好会が制作協力	
	3月	広報誌「ふれあい77号：30周年記念特集号」発行	
	4月	新型コロナウイルス感染拡大による「緊急事態宣言」発令 令和2年度緑鯨城会総会 開催中止 「書面による一括承認回答」に切替え 30周年記念式典・記念イベント 開催中止 特別会計として記念事業積立金始まる	
	5月	コロナ禍により役員・運営委員会開催中止 PCメール送信網を構築し、役員・運営委員会会議資料等 事前メール配信始まる	
	6月	「扇川クリーンキャンペーン」中止	



令和2年	7月	広報誌「ふれあい78号」発行 インターネット印刷始まる 緑鯨城会「ふれあいネットワークアクセス用 QR コード」掲載始まる
	8月	「第1回ネットワーク勉強会」始まる
	10月	外部講師による「スマホ LINE の活用術」講習会 開催 コロナ禍により「第25回趣味の作品展」開催中止
	12月	雑巾配布ボランティア活動 緑区社会福祉協議会より「感謝状」拝受
令和3年	3月	広報誌「ふれあい80号」発行
	4月	「趣味の作品展」出展作品を「ふれあい」誌上に写真掲載及び鯨城会 HP に投稿 コロナ禍により「令和3年度緑鯨城会総会・アトラクション」徳重地区会館で開催 コロナ禍により鯨城学園卒業者、鯨城会入会者「0」 鯨城会ホームページリニューアル 会計システム改変始まる
	6月	「扇川クリーンキャンペーン」開催中止
	9月	「みらい学童保育」要池公園清掃ボランティアに参加
	10月	コロナ禍により「第26回趣味の作品展」名古屋市博物館で開催 コロナ禍により「緑区民まつり」開催中止
	11月	鯨城会ホームページ 説明会開催 緑鯨城会同好会 活動調査
	12月	雑巾配布ボランティア活動 緑区社会福祉協議会より「感謝状」拝受
令和4年	4月	コロナ禍により鯨城学園卒業者、鯨城会入会者「0」 会則の改正 ① 緑鯨城会役員組織 会長（兼鯨城会代議員）、副会長、総務委員会（会計担当含む）行事委員会 ボランティア委員会、広報委員会、期別委員会、鯨城会幹事、会計監査、顧問とする ② 役員、委員の任期は、再任を妨げない ③ 各委員会にサポーター制を導入
	6月	3年ぶりに「扇川クリーンキャンペーン」参加
	9月	緑鯨城会ボウリング大会 ラウンドワン鳴海店で開催 地域ミーティングで在校生にスマホによる「HP 閲覧方法」説明実施
	11月	「第59回民間福祉功労者」として河村市長より「表彰状」拝受
	12月	雑巾配布ボランティア活動 緑区社会福祉協議会より「感謝状」拝受
令和5年	2月	「緑区福祉のつどい」で緑区社会福祉協議会より19期 馬越 求氏 「会長表彰」拝受
	4月	3年ぶりに34期生入会



令和5年	12月	雑巾配布ボランティア活動 緑区社会福祉協議会より「感謝状」拝受
令和6年	1月	「モルック緑」同好会発足
	2月	「緑区福祉のつどい」で緑区社会福祉協議会より20期 伊藤 一夫氏「会長表彰」拝受
	4月	「令和6年度緑鯨城会総会・アトラクション」緑文化小劇場で開催 37期生入会 「特別養護老人ホームかきつばたの里」喫茶ボランティア活動廃止 能登半島地震義援金活動」¥57,664円義援金寄付
	5月	緑鯨城会創立35周年
	11月	「第29回趣味の作品展」緑区役所講堂で開催（35周年記念）
	12月	雑巾ボランティア活動 緑区社会福祉協議会より「感謝状」拝受
令和7年	4月	広報誌「ふれあい92号：35周年特集号」発行

【参考文書】

広報誌「ふれあい」創刊号～第92号

「活動計画資料集」（復刻版）平成4年～平成11号

「年次報告書」平成12年～平成22年

「緑鯨城会総会要綱

令和7年度緑鯨城会総会は4月22日（火）です。

会場：緑文化小劇場

受付：9時30分

開会：10時30分

閉会：11時30分

アトラクション：13時00分～15時30分

☆銭太鼓みどり同好会

☆緑健康体操

☆緑健康太極拳同好会

☆うた声サロンみどり

☆オカリナ（賛助出演）





緑鯨城会歴代会長一覧

年 度	会長氏名	期別	学科	総会開催日	総会会場	会員数	役員会会場
平成元年	那須一雄	2	文化	1989/5/29	トータスランド	29	
平成2年	那須一雄	2	文化			42	
平成3年	那須一雄	2	文化			55	
平成4年	那須一雄	2	文化	1992/4/15	緑区役所講堂	80	
平成5年	那須一雄	2	文化	1993/4/7	〃	96	
平成6年	岸本榮二郎	4	生活A	1994/4/12	〃	108	緑ふれあい広場
平成7年	須藤弥三郎	5	生活B	1995/4/21	〃	112	〃
平成8年	鬼頭美代	6	生活B	1996/4/22	〃	130	〃
平成9年	荒川廣海	7	園芸	1997/5/3	〃	142	〃
平成10年	今井直次	8	園芸	1998/4/17	〃	164	〃
平成11年	石川吾一	10	園芸	1999/4/23	〃	184	〃
平成12年	石川吾一	10	園芸	2000/4/14	〃	177	〃
平成13年	水戸和子	11	生活B	2001/5/10	〃	184	〃
平成14年	佐藤敏彦	12	文化A	2002/4/9	〃	186	〃
平成15年	舟橋一子	14	生活B	2003/4/17	〃	220	〃
平成16年	岩崎修身	15	園芸	2004/4/7	〃	247	〃
平成17年	淡川 聡	16	美術	2005/3/25	〃	270	〃
平成18年	佐藤敏之	17	文化A	2006/4/5	〃	285	〃
平成19年	熊田克己	18	文化B	2007/3/17	〃	294	〃
平成20年	馬越 求	19	福祉	2008/3/16	〃	309	〃
平成21年	伊藤一夫	20	国際	2009/3/20	〃	339	徳重コミセン
平成22年	河合俊彦	21	環境	2010/4/11	〃	355	〃
平成23年	尾藤宗男	22	地域	2011/4/5	緑文化小劇場	358	〃
平成24年	小玉生氣	23	地域	2012/4/4	〃	353	〃
平成25年	伊藤文雄	24	園芸	2013/4/4	〃	376	〃
平成26年	近藤仙治	25	環境	2014/4/3	〃	387	〃
平成27年	山本捷一	26	地域	2015/4/3	〃	371	〃
平成28年	磯部 勝	27	国際	2016/4/22	〃	380	〃
平成29年	花井興亜	28	環境	2017/4/5	〃	354	片平ふれあいS
平成30年	原田良昭	29	地域B	2018/4/11	〃	356	〃
令和元年	近藤比呂史	30	地域A	2019/4/10	〃	312	〃
令和2年	高野 孝	31	国際B	コロナ禍により中止		301	〃
令和3年	高野 孝	31	国際B	2021/4/14	徳重地区会館	263	〃
令和4年	高野 孝	31	国際B	2022/4/26	緑文化小劇場	225	〃
令和5年	廣瀬義忠	32	文化A	2023/4/25	〃	205	〃
令和6年	亀井恒夫	33	園芸	2024/4/23	〃	208	〃



趣味の作品展35年のあゆみ

作品展	開催日	実行委員長	開催場所	出展数	来場者
第1回秋の作品展	平成8年10月28日～29日	牛田 正美	緑ふれあい広場	135	150
第2回秋の作品展	平成9年10月28日～29日	荒川 廣海	緑ふれあい広場	142	350
第3回趣味の作品展	平成10年11月 4日～5日	石川 吾一	緑区役所会議室	196	280
第4回趣味の作品展	平成11年11月23日～24日	増原美恵子	緑区役所講堂	300	300
第5回趣味の作品展	平成13年 1月27日～28日	水戸 和子	〃	330	300
第6回趣味の作品展	平成13年12月 8日～9日	佐藤 敏彦	〃	220	200
第7回趣味の作品展	平成14年11月 3日～4日	森 芳男	〃	249	269
第8回趣味の作品展	平成15年12月20日～21日	岩崎 修身	〃	427	367
第9回趣味の作品展	平成16年11月20日～21日	淡川 總	〃	397	491
第10回趣味の作品展	平成17年12月24日～25日	佐藤 敏之	〃	271	491
第11回趣味の作品展	平成18年12月23日～24日	大橋 博治	〃	406	376
第12回趣味の作品展	平成19年11月 8日～9日	馬越 求	〃	362	505
第13回趣味の作品展	平成20年10月 9日～10日	伊藤 一夫	〃	225	525
第14回趣味の作品展	平成21年10月10日～11日	河合 俊彦	〃	322	600
第15回趣味の作品展	平成22年11月27日～28日	尾藤 宗男	〃	348	580
第16回趣味の作品展	平成23年 9月23日～24日	小玉 正氣	〃	356	580
第17回趣味の作品展	平成24年 9月15日～16日	伊藤 文雄	〃	331	641
第18回趣味の作品展	平成26年 2月22日～23日	近藤 仙治	〃	242	455
第19回趣味の作品展	平成26年10月25日～26日	山本 捷一	〃	245	574
第20回趣味の作品展	平成27年10月24日～25日	磯部 勝	〃	283	613
第21回趣味の作品展	平成28年10月22日～23日	花井 興亜	〃	260	500
第22回趣味の作品展	平成29年10月28日～29日	原田 良昭	〃	295	373
第23回趣味の作品展	平成30年10月27日～28日	近藤比呂史	〃	250	500
第24回趣味の作品展	令和 元年10月26日～27日	高野 孝	〃	242	450
第25回趣味の作品展	コロナ禍により中止				
第26回趣味の作品展	令和 3年10月27日～31日	古澤 利之	名古屋市博物館	104	501
第27回趣味の作品展	令和 4年10月22日～23日	杉崎 四郎	緑区役所講堂	189	355
第28回趣味の作品展	令和 5年10月28日～29日	杉崎 四郎	〃	219	339
第29回趣味の作品展	令和 6年11月 2日～3日	杉崎 四郎	〃	188	279



同好会 35年のあゆみ

	① 朝の散歩会	② 陶芸サークル	③ カラオケ	④ パソコン	⑤ 緑リズム体操	⑥ 健康マーじゃん	⑦ ボウリング	⑧ ウォーキング	⑨ 健康体操	⑩ 銭太鼓みどり	⑪ ゴルフ	⑫ うた声サロン	⑬ みどり英会話	⑭ 郷土の歴史	⑮ 緑健康太極拳	⑯ モルツク緑	過去にあった 同好会
平成4年	○	○															鉢物・盆栽 H4年～H21年
平成5年	○	○															
平成6年	○	○															
平成7年	○	○															絵画 H4年～H22年
平成8年	○	○															
平成9年	○	○															卓球 H4年～H22年
平成10年	○	○															
平成11年	○	○															歩こう会 H6年～H14年
平成12年	○	○															
平成13年	○	○															ランドゴルフ H4～H13年
平成14年	○	○	○														
平成15年	○	○	○														詩吟 H21年～H27年
平成16年	○	○	○														
平成17年	○	○	○														絞り染め H29年～R6年
平成18年	○	○	○	○													
平成19年	○	○	○	○													
平成20年	○	○	○	○													
平成21年	○	○	○	○													
平成22年	○	○	○	○													
平成23年	○	○	○	○													
平成24年	○	○	○	○	○												
平成25年	○	○	○	○	○	○											
平成26年	○	○	○	○	○	○											
平成27年	○	○	○	○	○	○	○	○									
平成28年	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○							
平成29年	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○						
平成30年	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○					
令和元年	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
令和2年	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
令和3年	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
令和4年	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
令和5年	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
令和6年	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

35周年を記念して、歴代会長に執筆をお願いしました

「創立30周年記念号：77号」では、平成22年～平成30年までの歴代会長に寄稿していただきましたので、今回は続編として、令和元年以降に会長を務めていただいた皆様に、思い出や出来事、望まれる会のあり方等について、執筆をお願いいたしました。

緑鯨城会創立35周年に寄せて



近藤比呂史（30期 地域A）

緑鯨城会創立35周年、誠におめでとうございます。

思えば、練りに練った緑鯨城会創立30周年記念イベント開催直前に「新型コロナ」によって無念の中止となり、悔しい思い出が今も脳裏を過ぎります。

さて、会長職を終えてからは、偏に当会の健全なる継続を望むようになりました。未だ会員減少が毎年のように続いていると聞き及びますが、会員減少の歯止め策は、会の魅力づくりとそのPRであることに今も変わらないことと思います。

会の魅力は何か。それは楽しい仲間づくりにあり、多くの楽しい同好会活動が入会や歩留りを促進しそれが当会の健全な継続に繋がると思っております。

同好会の健全なる継続運営に欠かせない大きな要素は「無理のない運営」と「魅力づくり」にあると思います。

まずは、自らの「身体・精神・財布」の3つの健康に留意することから始め、気の合った仲間同士で、残された時間をいかに楽しく過ごすか。一度しかないこの人生、大いに楽しむことだと思います。昨年末につい半年前まで元気だった二人の親愛なる仲間の急逝に遭い、このような思いをより強く抱くようになりました。

現在、2つの主宰同好会の他に3つの同好会活動に加え、昨年4月から生れ育った地元氏神社の総代を任せられています。当神社の氏子会は現在、多くの課題を抱えていますが、こうした難題山積の現状を打破し、次世代にスムーズに繋ぐ為にならぬ解決すべきか、当初、相当の戸惑いがありましたが、1年目は例年通りの祭典の齋行・行事の遂行に心がけることから始めることとしました。任期の3年以内に難局を解決するためには、まずは4人の総代の力を結集することが必須条件と考えておりましたところ、幸いにも1年目にして当神社の祭典・行事精通者の協力を得ることができ、核に成るべき組織を結成することが出来ました。これで2年目の今年度から焦らず楽しみながら積極的な諸施策を実行できると思っております。

緑鯨城会の皆様が今後とも健康で充実した毎日を過ごされるよう願ってやみません。

コロナ禍と緑鯨城会

高野 孝（31期 国際B）



令和2年4月政府から新型コロナウイルス感染拡大に伴い「緊急事態宣言」が発令され、4・5月は、役員・運営委員会の会場片平ふれあいセンターが、レンタルできず「開催中止」を余儀なくされました。お先真っ暗な中「ピンチをチャンスに！！」を合言葉に コロナ禍時代の役員会の取り組みについて、下記に列記してみました。

- ① 令和2年5月 役員・運営委員会の情報展開の方策として、総務委員長を中心に役員、運営委員のPCメール連絡網を構築し、会議が開催できなくても会議資料（レジュメ、議事録 等）を事前にメール配信できる情報展開を試みました。この方法は、アフターコロナの今も継続して実施しています。
- ② 令和2年8月 広報委員会が、「第1回ネットワーク勉強会」開催し、実に、令和4年5月まで コロナ禍により中止、延期を繰り返しながら根気よく、粘り強く、緑鯨城会役員、同好会代表、期別委員、会員等を対象に順次開催した事。今思えば、緑鯨城会IT（情報技術）化（インフォメーションテクノロジー）の第一歩になったと思います。広報委員の努力に只々、「感謝……」です。今では、期別グループLINEを作って、情報展開、共有が、当たり前になってきました。
- ③ 令和3年4月から、会計担当により会計システムの改変が始まり、今までの手書き出納帳記入の会計業務から会長と5委員長（総務、行事、広報、ボランティア、期別）参加型に改変しました。PC上の帳票に領収書の金額を費目別（事務費、郵送費、会議費 等）に入力すると自動計算、自動集計されるシステムで、これにより会計業務をスリム化する事ができました。

上記3項目は、まだまだ改善の余地が有りますので、今後の「持続可能な改善目標」となれば、幸いです。

新型コロナウイルスの顛末

和暦・西暦	事項	摘要
令和元年12月 2019年	中国武漢で新型コロナウイルス感染者確認される	
令和2年1月 2020年	日本国内で新型コロナウイルス感染者確認される	志村けんさん コロナ感染で死去
令和2年4月 2020年	日本政府から緊急事態宣言発令される	非日常的な生活様式始まる 三密回避、不要不急な外出自粛 女優岡江久美子さんコロナ感染で死去
令和3年2月 2021年	新型コロナウイルスワクチン無料接種医療従事者より始まる	
令和5年5月 2023年	新型コロナウイルス感染症が感染症法上の5類に移行	日常的な生活様式に戻る

令和5年度の一年間

廣瀬 義忠（32期 文化A）



私が会長をさせていただいた令和5年度は、前年までのコロナ禍の影響で行事等の制限・制約が一部ありましたが、ほぼ自由な行動が可能となりつつありました。令和5年5月は愛知牧場で新入会員懇親会をバーベキュー（ジェラード、ソフトクリームが美味しかった）。

令和5年7月は名古屋地方気象台（白亜の建物：1922年完成が印象的）・鍋屋上野浄水場（旧第一ポンプ場：大正3年完成）見学。

令和5年9月は土岐市の核融合科学研究所（将来必要となる核融合技術の確立に向けた研究を行う文部省直轄の研究所）見学。何しろ装置、建物も大きかった。

参加希望者が多かったため、2日に分かれた。

令和5年11月は史跡（浜松城ほか）巡り。大河ドラマが徳川家康を取り上げていた。タイムリーな企画。同好会の「郷土の歴史を楽しむ会」との共催。

令和6年2月は恒例の大須演芸場の観劇会。大いに笑いました。

令和6年3月は地元緑区の名古屋市鳴海工場（焼却場）・鳴海下水処理場見学。

なんと！6回の行事を企画運営していただきました。

今後も、会員の皆様の健康のため、歩く、食べる、飲む、見る、笑う、行事を企画して下さい。楽しみにしています。



愛知牧場



名古屋気象台



核融合科学研究所



浜松城



大須演芸場



名古屋市鳴海工場（焼却場）

38期生地域ミーティング・区会説明会ひらかれる

廣瀬義忠（32期 文化A）

38期生の第三回地域ミーティングが12月1日に鯉城学園9階第4講義室で行われました。

11月15日に開催した「地域活動学習発表会」の続編と位置づけ地域活動やボランティア活動について更に深く考える機会としてグループワーク方式で行いました。1グループは5名～7名の在校生と2名の緑鯉城会会員（進行と記録）で構成され、緑鯉城会は4グループで38期生の出席は18名でした。はじめはぎこちなさがありましたが時間が進むにつれ、部屋は会話で賑やかになりました。特に地域活動はすでに参加している人があり後継者で苦勞しているとの話がありました。

結論を求めたグループワークではないので、各人の思いや考えていることを聞いた、話したで目的が達成されたと思います。



つづいて、1月24日には区会説明会が鯉城ホールで行われ、緑区は鯉城ホールの区切られた場所で説明しました。出席者は18名でした。

ご存知のように広い鯉城ホールのなかで、9区の鯉城会が区切られたエリアで一斉に始めるわけですから、声の大きい方が勝ちのように張り上げた声が隣に響いても、お互い様なのでかまわずプレゼンテーションをしました。今年はウォーキング同好会、緑健康体操同好会の方に活動状況を話していただきました。緑健康体操同好会の3人の女性は「365日の紙飛行機」をにこやかに体操していただき、雰囲気は盛り上がりました。

3月21日現在、38期生の入会希望者は12名となっています。



雑巾配布ボランティアを終えて

伊東 美智子（33期 地域B）

年末恒例の雑巾配布ボランティアを12月23日に行いました。

1年間かけて思いがこもった雑巾を作っていたいただいた枚数約1000枚（うち緑鯨城会は390枚ほど）が社会福祉協議会に集まりました。28の施設にお配りするため、緑鯨城会員10数名と社会福祉協議会の職員数名が1施設30枚の雑巾と新品のタオルを袋に詰め込みました。その袋は緑鯨城会員11名が各自の車に積んで、28の施設（下記の表を参照）にお届けしました。施設の皆様からは「ことしも来たの。ありがとうございます。」との言葉をいただきました

雑巾を作っていただきました各団体の皆様、緑鯨城会員の皆様、ありがとうございました。

来年も引き続きご協力をお願いします。

なお、社会福祉協議会より感謝状をいただきました。



英楽会 楓林花の里	愛生福祉会 黒石荘	鳴海聖園天使園
児童養護施設ゆうりん	コジマ会老健みどり	みそのラファエルこども園
乳児院ほだか	夢未来	サポート being 緑親
緑生福祉会 緑生苑	清水会ひかり	アネモネ鳴海事業所
風の会 ふきのとう	清水会まこと	ワークセンターメイプル
グループホーム かがやき	那爛陀学苑	アネモネ平子事業所
樺の森	なるみ作業所	日中活動センターさくらそう
健生児童デイサービス	ゆたか希望の家	グループホーム 池上台
サニーベイルイン鳴海	かきつばたの里	
なごやかハウス滝の水	デイサービスセンター浦里	

令和6年度 「大須演芸場」 鑑賞会

行事委員会

令和6年度 第4回行事として2月4日(火)「大須演芸場 鑑賞会」を実施しました。
大須観音は昨日の節分会の後片づけ中でしたが、参拝者で賑わっていました。

日本列島が、今季最大級の寒波におおわれ天候が心配されましたが、名古屋は降雪もなく、好天に恵まれ寒い一日となりましたが、33名の会員が参加し、初笑いを楽しむことが出来ました。



名古屋ウィメンズマラソンボランティア

ボランティア委員会

3月9日天気快晴、風は時々ふいてくる。日陰にいと寒く感じる。午前8時10分、博物館前付近に30名のボランティアが集合。今年は昨年と同じ33区、34区のコース整理。トイレがあり、列ができて少し苦勞する。12時50分解散まで、ランナーを応援しながら、休憩はチーム内で適度に取り。9時30分頃から、12時30頃までずーっと走る姿にむかって、声をだして応援した。受け持ち区域は12.5キロ地点。フルマラソンの4分の1にあたる。みな余裕の表情であるが、中には苦しそうな方を見かけ、「持つかな?」と他人事ながら心配してしまう。

30000人超の女性が走る姿は半世紀前には世界的になかった。今は違うという感じがした。7時間以内に完走したらいただけるバカラのタンブラーが一生の勲章になるだろうと想像した。
ボランティアに参加した皆さん、ありがとうございました。



俳句つれづれ（11）

平田 秀（30期 文化A）

コロナ禍の中、俳句を始めた私には、作句した句の出来栄えが全く分からず、箸にも棒にも引っかからない駄句なのかそれともそれなりの鑑賞に堪えうるものなのかの判定を新聞、雑誌に投稿し、選者の判断と読みに委ねることにしました。ですから週一回の新聞投稿に間に合わせるためにどんなことでも俳句にして投稿しました。投稿のために作句すると錯覚することもありましたが、幸い、私の性格がそれほど粘着性でなく、「まあ、いいか！」とってしまう性格なので、然程思いつめることなく今に至っています。なかなか、句ができずいやになることも何度もありました。その時には無理に続けることを止めて、作句したい自分になれた時始めることにしました。俳句する自分が重荷にならなくなり、いわばあるがままの自分の俳句となってきた感じがします。最近の句に、

「寒鴉鳴きて心の闇動く」

冬に鳴く鴉には何か不気味なそして心を見透かされるような響きがあります。その声にモヤモヤしている自分の解き明かせない心を知っているかのように重く鳴いている。それが自分の心に響くのです。自分の胸に突きつけると言ったほうがいいかもしれません。

そのような心境の中で、雑誌に投稿した句があります。

「野良猫の大きな欠伸小春の日」

「合唱にタクト大きくなるの暮」

「匍匐して猫入り込む置炬燵」

「少年の心野分の如くあり」



この4句共入選したのですが、一句だけ特選に選ばれています。どの句だと思われますか？

実は自分でも驚いているのですが、なんと最後の句の「少年の心野分の如くあり」でした。自分的には、「野良猫のー」句が好きで冬のあったかい日向に野良猫が気を許して大きな欠伸をしている。この景がほのぼのとして写実的でいいと思ったのですが、選者の眼は別な視点でした。ただ、自分が十分留意しなければならない点は、特選とか、秀逸に選ばれたからと言って迎合は厳に慎むべきです。それは結果として、自分のスタイルを失うことになりかねません。投稿し入選している常連の俳人は、選者の傾向と対策に余念なくどの選者にも選ばれる器用さを持ち合わせています。その能力も大したものですが、自分の俳句を失っていると思っています。「新聞に俳句が入選する方法」なんていう本まであり、あきれてしまいます。

これからは、句数を追うよりは、一句一句に磨きをかけ、自分の世界を追求して、下手でもいい平田俳句を確立したいと思っています。好きな俳句作家の作品を何度も読み込んで鑑賞したいと思っています。真似をするというわけではなく俳句というものに対する考え方を固めたいとも思います。

投稿（俳句・短歌）

俳句

- ① 梅林に彩色ありてほの温し
② 春たけなわ花々満ちて歓喜あり
熊田 八郎（29期 文化A）

大高緑地公園の梅林
(2023/2/17 撮影)



短歌

- ① 薄墨の梅林染める紅と白寒さに耐えて先駆けて満つ
② 花々の咲き誇る園華やいて吾の気分も浮き浮きとなる

熊田 八郎（29期 文化A）

ほら貝池公園の桜とチューリップ
(2023/4/1 撮影)



滑り込む電車を見つめる我がまなこ風速に負けパチクリ5回

冬枯れの銀杏並木の向こうから春を運んでシトロエンが来る

廣瀬 義忠（32期 文化A）

出欠連絡不要な、集合場所・時間に参集すれば自由に参加出来る気軽な同好会です。
手軽に体力維持ができ、様々な地域の風物に触れることが出来るウォーキングを是非一緒に楽しみましょう。

報告！ ウォーキングしました ☺

2024年 11月30日 (土) 小幡緑地・八竜湿地 (守山区) 15名参加



[参加者の声] 良い天気ではなく、紅葉もイマイチでしたが、皆さんとの楽しいウォーキングは最高でした。ありがとうございました。緑地を歩き自然を楽しむことができました。

2025年 2月28日 (金) 名古屋市内中区散策 14名参加



[参加者の声] 寒くも無く歩くには丁度良い天気でした。名古屋に住んでいても、知らない所ばかりでした。名古屋再発見というより発見のウォーキングでした。楽しく歩けました。ランチもおいしかったです。

これからのウォーキング案内

- ・2025年5月30日 (金) 東海道 赤坂宿と御油宿
愛知県東部の東海道を歩きます。浮世絵に描かれた旧旅籠の大橋屋、御油の松並木などを巡ります。
(道が狭く注意が必要です。)
集合時間・場所 8:50 名鉄 鳴海駅改札口 (または 9:42 名電赤坂)
鳴海駅 8:57→ 9:25 美合 9:28→ 9:42 名電赤坂
距離 約6km 2時間 レベル1
持ち物: 弁当、飲み物、雨具、敷物 など
コース 名電赤坂駅→ 杉森八幡社→ 大橋屋→ 関川神社→ 御油の松並木
→ 東三河ふるさと公園→ 国府駅
交通費 鳴海→名電赤坂 830円 国府→鳴海 900円
- ・2025年6月30日 (月) 常滑 やきもの散歩道とランチ
常滑焼のやきもの散歩道を歩きます。現地でランチの予定です。
集合時間・場所 8:55 名鉄 金山駅中央改札口 (または 9:36 常滑)
金山 9:07→9:36 常滑
距離 約6Km 2時間 レベル 1
持ち物: ランチ、飲み物、雨具、敷物 など
コース 常滑駅→ 招き猫→ 廻船問屋瀧田家→ 土管坂→ 登窯→
INAX ライブミュージアム前→ とこなめ陶の森資料館
→ 陶磁器会館→ ランチ→ 常滑駅
交通費 金山→常滑 片道 690円

毎回の
注意事項

* 服装・持物 * : 帽子・リュック・手袋・飲み物・雨具・敷物・保険証・(*弁当) 等
前日の天気予報で9時~15時までの降水確率が40%以上は中止です!

訂正とお詫び

広報委員長 廣瀬 義忠

ふれあい91号の「29回趣味の作品展」に多くの訂正がありました。原因はすべて編集担当の不注意から起因したものです。深く反省し、お詫び申し上げます。

ページ	部門	氏名	題名	訂正内容
7	絵画	31期 園芸 右高 茂夫	野菊	作品の取り換え
8	工芸	29期 文化B 原田 和恵	トートバック	作品の取り換え
8	工芸	34期 健康A 岩原 文子	帆布バック	氏名の取り換え
12	写真	23期 環境 山田 恵美子	見合って見合って	追加
13	写真	30期 地域A 福田 聖太郎	紫の香り	作品の取り換え
13	書道	19期 美術 土井 徳郎	無題	作品の取り換え
13	書道	27期 国際 大塚 祥子	禅語	作品の取り換え
13	書道	30期 健康B 森 順子	歌ごころ愛和笑顔があふれだす	作品の取り換え
13	書道	30期 健康B 森 順子	平氣順心	題名の間違い
13	書道	28期 健康 山森 雅子	素性法師の歌	作品の取り換え



野菊
31期 園芸 右高 茂夫



帆布バック
29期 文化B 原田 和恵



帆布バック
34期 健康A 岩原 文子

写真



見合って見合って
23期 環境 山田 恵美子



紫の香
30期 地域 A 福田 聖太郎

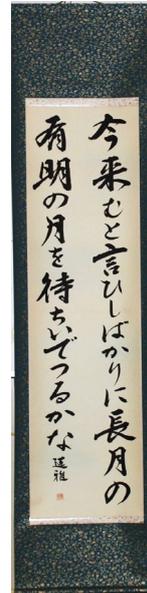
書道



無題
19期 美術 土井 徳郎



禅語
27期 国際 大塚 祥子



素性法師の歌
28期 健康 山森 雅子



平氣順心
30期 健康 B 森 順子



歌ごころ愛和笑顔があふれだす
30期 健康 B 森 順子

春の「こころの絆創膏」キャンペーン

ボランティア委員会

令和7年3月4日「こころの絆創膏」配布に参加しました。各区鯨城会からは3から5名が午前7時50分に名鉄金山駅西改札前に集合。

名古屋市健康福祉局健康部健康増進課の職員から説明を受け、名鉄金山駅東改札前、名鉄金山駅西改札前、名古屋市営地下鉄金山駅改札前、JR金山駅改札前にそれぞれの区鯨城会会員が張り付いて、通勤ラッシュの中「こころの絆創膏」を配布。「おはようございます。こころの絆創膏です」の挨拶をしながら、8時から9時までの1時間「こころの絆創膏」を手渡ししました。



編集後記

創立30周年から創立35周年の5年間は世の中もそうですが、鯨城会も大きく変わりました。35期と36期の卒業生はコロナ禍の影響で入学は0人、卒業も0人となりました。この5年間は会員数が減り続けました。現在も同じ傾向を保っています。しかし、会員相互の親睦、生涯学習の推進、地域活動に貢献の精神は会員の皆さんの心に脈々と続いています。

35年のあゆみを読んで、先輩の皆様のご苦勞や何があったのかを紐どきながらその時代の自分と照らし合わせて懐かしんで下さい。

広報委員会

32期 廣瀬 義忠 090-7611-6755 bibi@carrot.ocn.ne.jp

32期 古澤 利之 090-5106-1854 mukumuku-maron@ark.ocn.ne.jp

34期 岸本 三郎 080-3632-6345 s_kisy5@rx.tnc.ne.jp

25期 水谷 健二 090-2617-4782 nwjh2gla@gmail.com

29期 熊田 八郎 090-9918-9034 balangxiongtian@gmail.com

31期 奥野 幸泰 090-6093-0183 yukiAR1105@outlook.jp

25期水谷さん、29期熊田さん、31期奥野さんは広報サポーターとしてお願いしております。

鯨 城 会 オ リ ジ ナ ル ホ ム ペ ー ジ



<https://midori-kojyo1989.jimdofree.com>

スマホ・タブレット・パソコンから閲覧(QRコード&URLからアクセス)